



栗野靖七 議員 田中康博 議員 幸光正嗣 議員 細川俊行 議員 八田憲児 幹事長 笠谷洋佑 議員 細川力男 議員 井元 潔 議員

幹事長ごあいさつ

待機児童解消のための追加補正予算等が可決

平素は、新和会議員に対して、ご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。さて、去る5月31日には念願の「大石淀グラウンド・ゴルフ場」が開場となり、大津市にお住まいの皆様が生涯スポーツの推進と、地域交流や健康増進の場として広く活用されますことを大いに期待しているところであります。

また、7月3日に全日程を終了した6月通常会議では、自治体情報システムの標準化に要する経費をはじめ、新型コロナウイルスワクチンの定期接種に伴う経費、大津湖畔なぎさ公園園路舗装改修等工事に要する経費などを含む補正予算や待機児童解消のための補正予算、さらに条例改正など全ての議案を会派内で慎重に審査し、可決されました。

引き続き、我が会派の理念とする「大津市を守り育て、さらなる発展と市民の皆様が安心して暮らせる県都大津の実現」に向け、これからも8名の議員が、広く地域の声をくみ上げ市政につなげるパイプ役として全力で取り組んでまいりますので、今後ともご指導ご

鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新和会 幹事長

八田憲児

新和会 会派理念

- 一、会員は、党派の枠を超えた政策で結集し、開かれた議会改革と市民のためになる行財政改革の推進に努める。
- 二、会員は、自立した議員として認め合い、専門性を活かした自由な調査・研究・議論を行い、相互の資質を高め政策形成を進める。
- 三、会員は、市民目線に立ち執行部との十分な議論を尽くして政策の実現を図るために協働する。



八田憲児 錦織在住
はったけんじ
幹事長

本年度は議長の諮問機関である議会運営委員会の委員長と会派幹事長としての一年になります。二元代表制のもと、皆様の声に耳を傾けながら、「夢があふれるまち大津」の実現に向け取り組みを進めていきます。

<http://8ta.jp>



幸光正嗣 一里山在住
こうみつまさつぐ
議長

議員の皆様にご推薦いただき第98代大津市議会議長に就任いたしました。市民に1番身近な地方議員としてこれからも皆様の「お声」を大切に、議会の権能を最大限に発揮できるよう取り組んでまいります。



細川俊行 日吉台在住
ほそかわとしゆき
副幹事長・幹事長代理

今年度、教育予算は約166億、構成比12.3%となり大津の教育は大いに前進。小規模校の特色ある教育の推進、市民センターの充実、公園を生かしたまちづくり、県内産木材の活用などに取り組む所存です。



笠谷洋佑 真野在住
かさたによすけ
副幹事長・政調会長

今年度は、総務常任委員会の委員長、また会派では政務調査会長といった、政策推進にとって大変重要な職をお預かりします。市民の皆さまの声を伺いながら、実現力を活かし全力で取り組んでまいります！



細川力男 本堅田在住
ほそかわりきお
幹事・副政調会長

議員ルーキーの昨年度は戸惑いばかりで市民の期待に応えるだけの職責は果たせませんでした。本年度は皆様の声を伺いながら、より身近な存在となれるよう頑張ります。「暮らしやすい大津(まち)づくり」へ全力投球！



栗野靖七 今堅田在住
くわのやすかず
広報委員長

議員2年目へ向け、現場重視の姿勢を継続し、慢心せずに情報収集と柔軟な対応で市政発展に努めます。「いつも今を大切に」行動力を重視し現場の声をひとつでも多く形に変えられるよう精進して参ります。



田中康博 伊香立在住
たなかやすひろ
副広報委員長

皆様からお力添えを頂き2年目を迎えました。今年度は、生活産業常任委員会副委員長の職を拝命し、議会活動はもとより、地域や皆様が抱える諸課題にもしっかり取り組み「暮らしやすい街」「未来ある街」となるよう頑張ってお参ります！



井元 潔 山上町在住
いもときよし
事務局長

おかげさまで議員初当選の昨年度は、全力で駆け抜けた1年でした。2年目も引き続き地域のお声をしっかりと聞き、それぞれの地域課題に取り組みます。ご期待にお応えできるよう、とことんまじめに取り組めます！

私たち新和会に皆さまのお声をお寄せください。

新和会 ホームページ YouTube チャンネル

ホームページからのご意見、お問い合わせもお待ちいたします。

田中 康博 生活産業常任委員会副委員長 公共施設対策特別委員会委員
Yasuhiro Tanaka

クマの出没による生徒たちの通学時の安全確保について

Q 今年に入ってから幾度とクマの目撃情報や、有害鳥獣捕獲用の檻で捕獲されたりするなど、クマの出没が相次いでおり、喫緊の応急的な対応が求められている。教育委員会として、対応策をどのように講じておられるのか伺う。

A クマの目撃情報があった場合には、ただちに近隣の小中学校へ情報提供を行っている。学校においては、保護者に対するメール配信や、教員による登下校時の付き添いや見回りに加え、地域関係者や警察、関係機関へのパトロールの依頼等を行っている。児童生徒に対しては、安全指導を行うとともに、特にクマの出没情報の多い地域の学校においては、熊鈴を持たせるなど、児童生徒が安全に登下校できるよう対策を講じている。今後も、児童生徒に対する安全指導と、関係機関と連携した安全確保に努めていく。



笠谷 洋佑 総務常任委員会委員長 公共施設対策特別委員会委員
Yousuke Kasatani

道路整備の事業スケジュールについて

Q 幹線道路整備について、「当初の工期が守られていない」との市民からのご意見を頻繁に伺う。十分な精査のもとに設定した工期を遵守することが第一であるが、やむをえない理由により工期が延伸する場合、より丁寧な説明・情報発信が必要であると考えているが、今後の方針を伺う。

A 道路整備においては、各工程の進捗状況を定期的に確認し管理している。事業に遅れが生じる場合などは、自治連合会や自治会などの地元関係者などに対し説明を行っているが、今後は SNS も活用しながら、工事内容や進捗状況についてできる限り周知することを検討していく。



細川 俊行 教育厚生常任委員会委員 議会運営委員会委員
Toshiyuki Hosokawa

大きな地震等の発災時における対応について

Q 発災時に人の避難や物資の運搬、災害ごみの運搬など道路だけでなく琵琶湖の湖上を活用することは有効であるが、取り組みの現状について伺う。

A 大規模災害が発生し、陸上交通が遮断された場合、消防局が保有する消防艇を最大限に活用して救助活動や避難の支援などを実施。また、災害時の湖上輸送等を円滑に実施するため、市内漁業協同組合や海運会社、造船会社と消防活動支援協定を締結している。滋賀県では、今年度に湖上輸送に使用する船舶の着岸可能箇所や輸送能力等の現状把握を行うとしており、防災訓練等の機会をとらえ連携強化に努めていく。



栗野 靖七 施設常任委員会副委員長 防災対策特別委員会委員
Yasukazu Kuwano

遊休農地対策、6次産業化商品の開発、有機農業推進について

Q 遊休・荒廃農地・耕作放棄地の課題と対策や6次産業化の成功事例・地域の市場分析や国が進める『みどりの食料システム戦略』における有機農業の推進について見解を伺う。

A 遊休農地や耕作放棄地の課題は、高齢化、担い手不足、燃料・肥料の価格高騰にあると捉え、水源涵養機能確保の保全向上対策事業や中山間地域等直接支払制度を実施している。6次産業化では、パックご飯、日本酒、しそジュース等を開発し、龍谷大学と連携してふるさと納税の返礼品を提供するなどの取り組みを行っている。有機農業は、品質や収量の不安定性、労働生産性の低さが課題であり、化学肥料や農薬の使用低減など環境に優しい持続可能な農業の推進に取り組む必要があると考える。



細川 力男 総務常任委員会委員 議会運営委員会委員
Rikio Hosokawa

堅田地域における歴史まちづくりについて

Q 堅田地域の魅力向上に向け、大津市歴史的風致維持向上計画と第2次大津市景観計画をどのように活用し効果を見込んでいるのか、また事業スケジュールも含めて伺う。

A 歴史的風致維持向上計画の重点地域は、歴史的な建造物の保存活用事業等の実施により、歴史文化を活かした官民連携のまちづくりにつながり、景観計画における重点地区は、歴史的なまちなみ景観が保全されることが期待でき、これらの計画を重ねて運用することで相乗効果が発揮され、堅田地域全体の歴史まちづくりが推進される。
具体的な事業の進め方とスケジュールについては、現在「堅田地域エリア部会」の設置に向けた協議を行っており、この協議の中で今後決定していく。



井元 潔 生活産業常任委員会委員 防災対策特別委員会委員
Kiyoshi Imoto

JR大津京駅、駅前広場の噴水を含むスペースの利活用について

Q 東側ロータリーにある噴水が、長年止められている。JR湖西線で最も多くの利用者があり、観光地やスポーツ施設とも近いので市外の方の利用も多い駅だが、駅前でこの状況が続いている一方、通勤通学の時間帯に、ロータリーでは、車で送り迎えされる市民の方の車両と、バスや歩行者の通行で混雑している。広場や噴水のスペースも活用して一般車両の乗降場を設置すれば駅前の駐車スペースの問題が解決できると考えるが市の見解を伺う。

A 噴水は、平成23年の東日本大震災の際の全国的な節電要請により、他の駅前広場等に設置する噴水と併せ停止し、その後も施設の老朽化に伴い停止している。噴水の再稼働には、ポンプ機器などの更新に約1,500万円の経費が必要で、停止して13年が経過し、噴水の再稼働は困難。まずは駅前のバス・タクシーの運行状況や、一般車両の利用状況の把握に努めていく。



6月議会 TOPICS トピックス

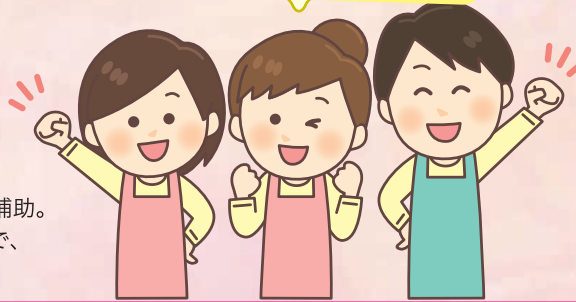
待機児童の増加に伴う緊急対策経費の補正

保育人材確保に向けて

- ①保育士等奨学金返還支援事業費補助金
- ②潜在保育士等就職支援給付金
- ③小規模保育施設設置補助金

- *①は 補助対象者が市内保育所等で勤務した後、市内勤務保育士対象で最大24万円補助。
- *②は 補助対象者の継続勤務に応じて最大12万円補助。
- *③は 坂本・下阪本学区と滋賀・唐崎学区の2施設で、1施設あたり最大2,661万8千円補助。

待ったなし!



こちらも注目

企業版ふるさと納税を活用した地方創生事業関連経費の補正

企業版ふるさと納税を活用し、比叡山延暦寺のユネスコ世界文化遺産登録30周年を契機とした観光振興事業を補助。
公募で選定された個人・団体1者に最大2,100万円の補助を行い、坂本城跡など市内文化財の保存・活用を支援。

会派研修

研修日時：令和6年5月30日(木)・31日(金)
研修場所：明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール(東京都千代田区神田駿河台1-1)

テーマ「個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する」

各分野の専門家より、様々な観点から自治体のまちづくりについて講演をいただき、多くの学びを得ることができました。

大津市においては、全体としての人口は微増傾向にありますが、地域によっては、人口減少や高齢化率の上昇がみられます。今後、本市の実態やニーズに即した市民が主体となるまちづくりが一層重要になります。政策を担う議員として、他都市の事例や学術的な研究・調査というものも、より必要とされるのではないかと考えています。

今回の研修を通して得た知識や知見を、より良い大津のまちづくりに活かし、地域の声を大切にするとともに、さらなる調査研究を通し研鑽に努めてまいります。

